



# しろしたこうさく 城下広作 県政報告誌

県民の身近な代弁者  
熊本県議員



熊本県庁  
〒862-8570  
熊本市水前寺6-18-1  
Tel.096-383-1111  
(内線2008)

県民の身近な代弁者

2011年 10月発行

第 47 号

## ご挨拶



草木も随分色づきはじめ、すっかり秋の気配を感じる今日この頃ですが、皆様におかれましては益々御健勝のことと拝察致します。

さて、熊本県議会も去る9月14日から10月7日まで、24日間の日程で開催され豪雨災害復旧・水俣病救済に関する予算等の審議を終え閉会しました。一方、東日本大震災復興は、がれき処理など多少は進んでいますが、本格的な復興はまだ相当な予算と時間を要するようです。国の三次補正予算、国難に対処できる、知恵を絞った「本格復興の基礎となる」予算成立を、県議会議員の立場で監視して参りたいと思います。

熊本県議会議員 城下広作

## 9月議会で論議された主な内容

9月議会は、新幹線開業効果、本県における震災対策、教科書問題(県立中学校副教材採用)、荒瀬ダム撤去費用、荒尾競馬事業廃止、TPP問題等が論議されました。どの問題も重要であり、知事及び執行部も真剣に取り組んではいらるようですが、依然厳しい県内の景気・雇用状況から脱却するため、更なる努力が必要との認識で挑んで参りました。

## 農林水産常任委員会での私の主な発言

いよいよTPP問題の決断時期が近間ってきた。しかし、我が国が参加した場合・しない場合の「メリット・デメリット」は、国民・県民に正確な情報が伝わっていない。このままでは日本の将来に禍根を残すことになりかねない。国民・県民にも賢明な判断を行ってもらうために、正しい情報提供が必要であると執行部に訴えました。

## 環境対策特別委員会での私の主な発言

南関町に予定の「公共関与による産業廃棄物最終処分場建設」の論議のなかで、建設された場合の処理能力の対応年数が15年から20年との見通しを県が示しました。もし満杯になったら次の候補地は考えてあるのかと話題になりましたので、私は、今まで論議してきた課程で他の候補地が示されているので、今までの経緯を尊重すべきと訴えました。

## 震災及び防災対策特別委員会での私の主な発言

県の防災対策の見直し(案)の中に、地域防災の協力体制が唱われているが、災害要支援者と同様に、地域にある小中学校の児童生徒の地域との連携のあり方が不明確である。災害時には、小中学校を含めたその地域全体の避難誘導のあり方を総合的に論じ、対応策を練るべきと訴えました。

## 決算特別委員会に選任されました!

平成22年度の決算について県議13名のメンバーで論議することになりました。血税であることを肝に銘じ、県民視線を大事にしなが、しっかり対応して参ります。

## ここ最近の活動状況



8月14日、熊本市辛島公園にての終戦記念街頭演説の様です。毎年この時期に、先の大戦で亡くなられた方々のご冥福と、平和の尊さを訴えさせて頂いています。二度と同じことを繰り返さないとの決意で、毎年続けて参る決意です。

また、9月10日には、くまもと難病フェスタ2011に来賓として招待されました。原因が分からず、有効な治療薬も開発が進まず、患者の皆様をはじめ家族の方々も同じ苦しみを背負っておられます。一日も早い原因究明、有効な治療の確率に向け、今後とも支援して参る決意です。

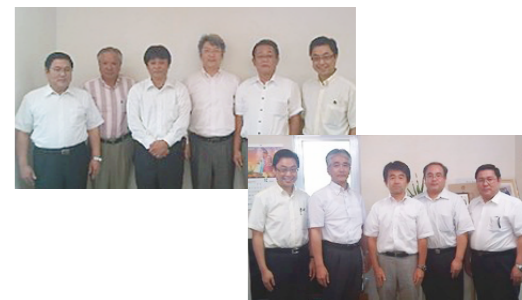
## 天草地域のJA役員と懇談

去る10月6日、天草市や苓北町のJA3組合に、秋野公造参議院議員と一緒に訪問。今後の農業政策に関する意見交換を行いました。特に話題になったのがTPP問題で、日本が参加を決めたら、農業へのダメージは計り知れないとの認識で一致、今後も情報交換を行い、協力し合うことを確認しました。



## 県内の浄化槽関連の組合と意見交換

去る9月12日、熊本県環境技術協議会と、熊本県環境整備事業協同組合の代表メンバーと、熊本県内の下水道整備状況やメンテナンス・点検費用の在り方などについての意見交換会を行いました。災害時に強い市町村設置型の浄化槽の普及が一番との認識で一致しました。県内普及に全力で取り組む決意です。



## 医師会メンバーと懇談

去る10月6日、天草都市医師会、健康保険病院・天草中央病院の両院長及び役員の方々と地域医療の現状と課題、今後求められる病院等への支援の在り方を意見交換しました。秋野参議は医者であり元厚生労働省に勤務の経験もあり、先方の話に理解を示し、「大変心強い」と期待を寄せられました。特に、健康保険病院の天草中央病院は、政府が廃止を打ち出した経緯があり、公明党の反対で存続を勝ち取ったことで、大変喜んで頂きました。



## 児童養護施設の長年交流

9月12日訪問→

熊本市内にある藤崎台童園には、県議になった直後から理容職に就くボランティアグループ「すずらんグループ」と年4回訪問しています。園内の子供たちは毎回楽しみに待っていてくれ、グループの皆さんも、「とてもやりがいがある」と、いつも楽しく、子供たちと触れ合っています。この交流が途切れないように、これからも支援して参ります。



●ホットライン (お気軽にご相談ください)

県議会/096(383)1111(内線2008)・携帯電話/090-8661-7722

●ホームページ <http://kumamoto-komei.net/shiroshita/>

●メール [shiroshita@kumamoto-komei.net](mailto:shiroshita@kumamoto-komei.net)